

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H27-4号)

平成27年7月6日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成27年7月2、3日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は下記のとおりです。

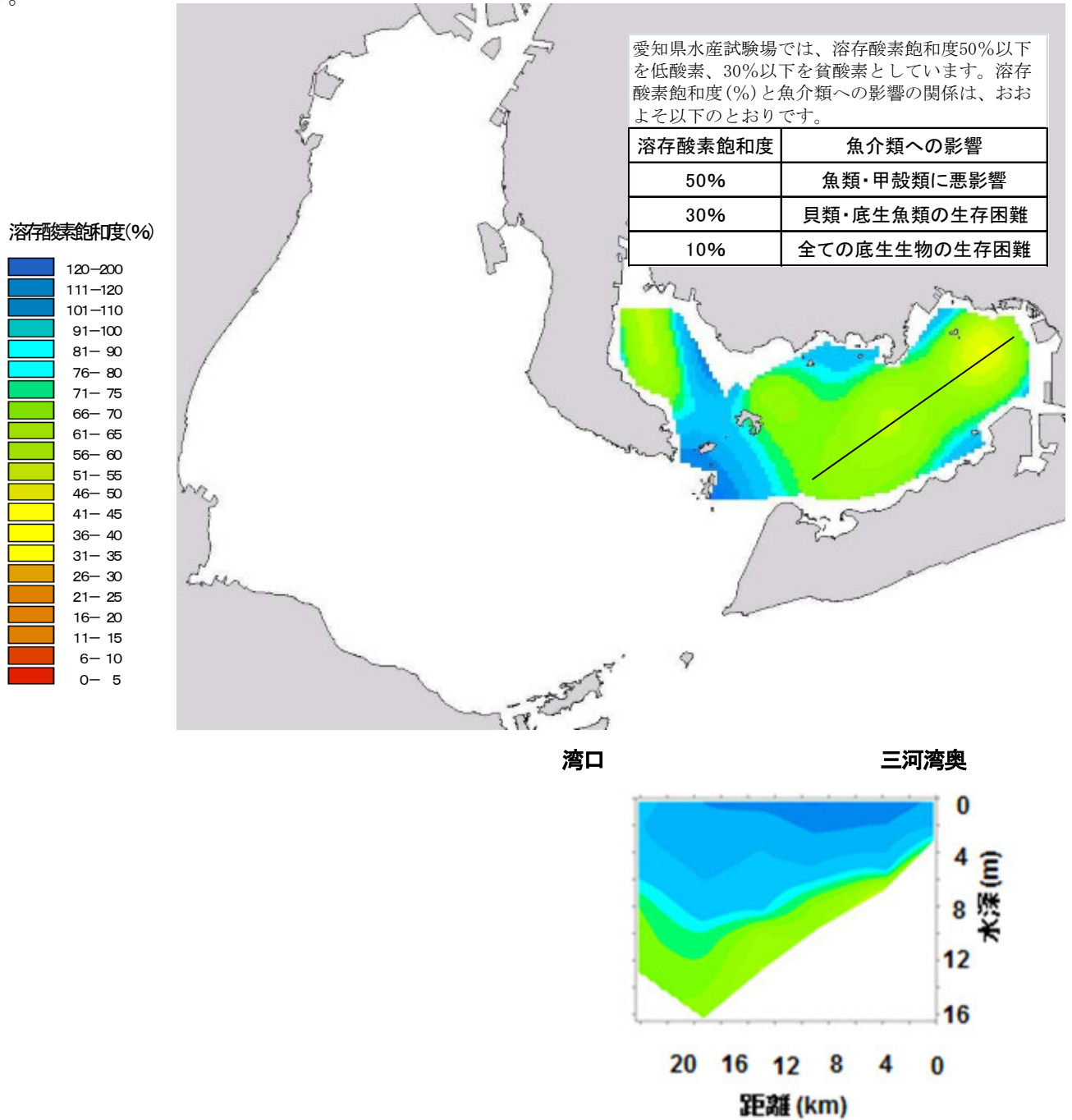


図1 三河湾(7月2、3日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)
(愛知県「へいわ」調査)

三河湾

7月2、3日の調査結果を図1に示しました。前回調査（6月22、23日）では一部の海域で貧酸素水塊が確認されましたが、今回の調査では解消していました。

自動観測ブイ1号（蒲郡沖）のデータを見ると底層では徐々に溶存酸素飽和度（DO）が低下していますが、貧酸素水塊は発生していない状況です。また、表層では降雨の影響による塩分の低下が観測されました（図2）。

今後は、表層の水温上昇と低塩分化により成層化が進み、貧酸素化が進行すると思われます。

	水温(°C)		塩分	
表層	21.6	～ 23.8	22.0	～ 31.8
底層	19.7	～ 22.5	30.8	～ 32.9

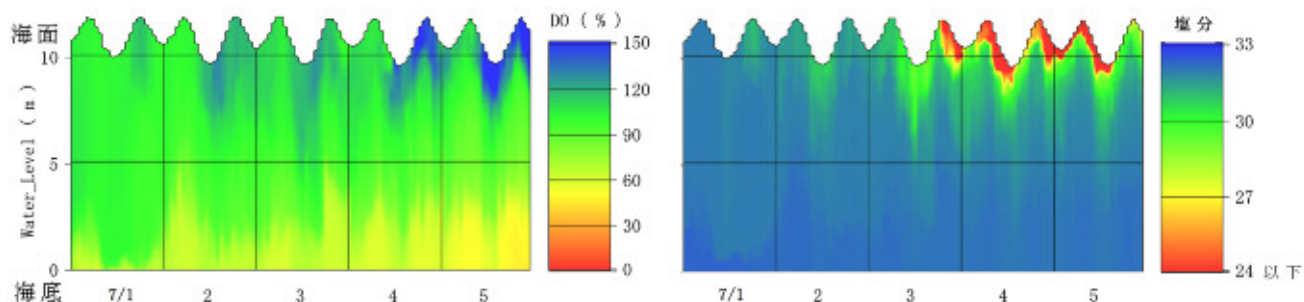


図2 溶存酸素飽和度（左図）及び塩分（右図）の経時変化（自動観測ブイ1号）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

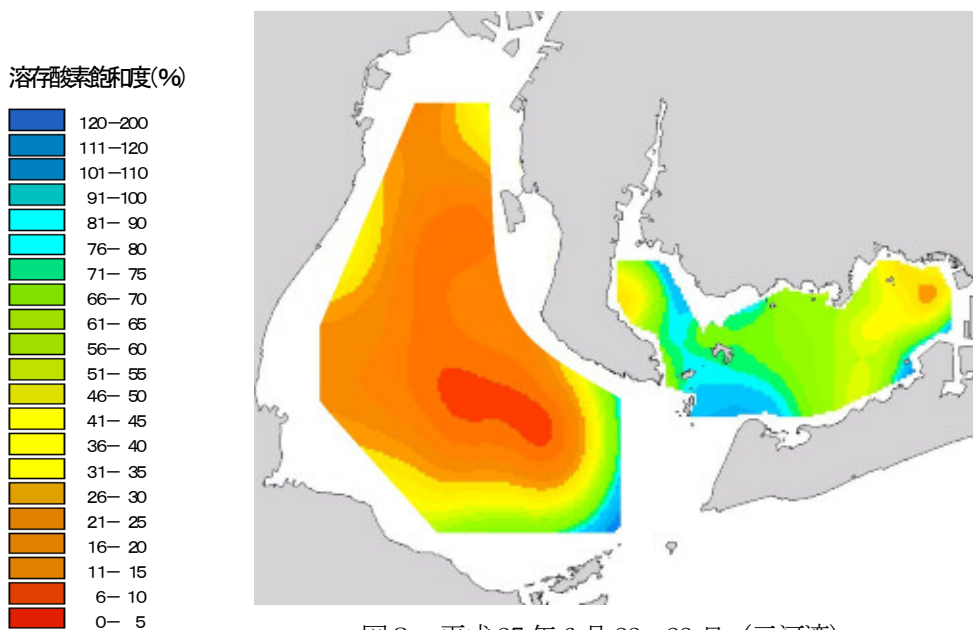


図3 平成27年6月22、23日（三河湾）